



あなたの立場で問題を解決するコンサルタントです

道商工連・同協同組合理事会開催

全中連の組織改編案などを協議

道商工連と同協同組合は12月3日、第111回理事会・第134回常任理事会、同協同組合第128回理事会をポールスター札幌(札幌市中央区)で開催しました。議事は①事業報告(上半期)②全中連の組織改編について高柳専務理事より提案し、全会一致で承認しました。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、5月21日開催の理事会、6月28日開催の総会が、昨年に引き続き書面議決を余儀なくされ、全国中小企業団体連合会(中連)や北海道中小企業団体中央会など関係する諸団体の総会も同様

の書面開催になりました。今回の理事会の主な内容は以下の通りです。

道商工連の組織はこの間、微増・微減で、おおむね横ばいを維持。ホームページによる情報発信は主に、道や札幌市による新型コロナウイルスの感染防止対策や経済支援策などについて情報提供に努めてきました。

全中連の組織変更については、ウエブ会議を含めて議論を重ね、「全中連」の名称は残しながら、ブロック協議会単位の組織に移行する方向を了承しました。

新たな協議会の機能は、①情報交換はNET通信の充実やホームページの活用②研修(次ページへ続く)



道商工連・同協同組合理事会で挨拶する峰崎会長

「道商工連」に同封してチラシやパンフ無料配布

道商工連が毎月10日前後に発行している会報紙『道商工連』に同封して、皆さまが製作したチラシやパンフレットなどの宣伝物を、会

員企業の皆さま宛てに無料で配送します。
毎月、月末まで(12月は20日まで)に250部を道商工連までお届けください。

会員訪問・札幌メールサービス(3面)／立憲民主と意見交換会(2面)

凱風 (夏から秋に吹く南風)

岸田内閣の、総選挙後初めての臨時国会が6日から始まった。選挙前は自民党は過半数を確保できるかどうか、立憲民主党は現有議席をどれだけ上積みできるか、などと予想されていた▼結果は自民党が単独で261議席という絶対安定多数を確保し、立憲は100議席を割り込む敗北となり、枝野代表が責任を取って辞任。後任の代表に札幌生まれの泉健太氏(京都3区)が選出された▼決選投票に残ったもう一人は逢坂誠二氏(北海道8区)で、ニセコ町出身である。道産子同士の対決となったわけだが、政界の人材の宝庫「北海道」の存在感を一気に高めたと言えるよう▼泉新代表には、立憲民主党の目指すべき日本の実現可能性と持続可能性を持った、骨太な将来像をしつかりと創り、自民党の動きに惑わされないうで突き進んでほしいと思う。大いに期待したい(峰)

(前ページから続く)

会は年一回の開催③政策要望は、立憲民主党・国民民主党・社民党へ働きかけ、全中連国会議員団との連携を図る。また、機関紙「商工新報」は来年3月で廃刊します。

立憲民主道連と意見交換会開く

総選挙後の新体制へ要望も

道商工連は12月3日、理事会・常任理事会終了後、同じ会場で立憲民主党北海道総支部連合会との意見交換会を開きました。

同党は総選挙の敗北を受



冒頭に挨拶する峰崎会長(右奥)

今後は、①代表者の選出方法②協議会からの情報発信の内容と事務局体制について③予算と分担金などについて協議を続けることになり、新年度からの移行を目指しています。

けて代表選挙を終えたばかり。道連代表である逢坂誠二衆議(道8区)が党本部

の代表代行に就任したため東京を離れられず、徳永エリ道連副代表(参議)と、道下大樹衆議(道1区)、松木けんこう衆議(道2区)、初当選の荒井ゆたか衆議(道3区・道比例)、梶谷大志道連幹事長(道議・清田区)の5人が出席しました。

道商工連副会長でもある徳永エリ参議は、「党大会では世代交代と、ジェンダー平等が大きな議論になった。泉健太代表は47歳、西村智奈美さんは初の女性幹事長で、

党が変わってきたと感じている」と述べ、新型コロナ対策では、中小企業や一次産業も含めて必要な所に支援がいく施策が必要と訴えました。

道下衆議は「実質ゼロ金利だった中小企業融資も返済が始まるが、原材料の値上がりもある経済の回復は不十分で、さらなる支援が必要だ。政策提案型の国会活動に努めたい」と述べました。

松木衆議は、「小選挙区制度では、個々の政策に意見の違いが生じて、党が割れないような、自民党の総務会的な仕組みが必要だ」と党改革を訴えました。

荒井衆議は、「本道にも若い経営者が多い。スタートアップ企業の支援にも取り組みたい」と中小・零細企業対策への意気込みを語りました。

道商工連の参加者からは、「皆さんの意見を聞いていてもバラバラに感じる。民主党政権樹立当時に立ち返り、みんなが一致して訴えるものが必要だ」(4ページへ続く)

いざという時 機能しますか!!

ビルの安心・安全

- ・警報が鳴りますか
- ・スプリンクラーが作動しますか
- ・消火器はどこにありますか

消防設備の機能定期点検(法令)おまかせ下さい



有限会社 セーフシステムメンテナンス

〒062-0053 札幌市豊平区月寒東2条17丁目1-45

TEL 011-855-6006 fax 011-855-6086

消防設備法定点検、各種法定点検の

ご相談、受け賜っております。

会員訪問

株式会社 札幌メールサービス

代表取締役 佐々木裕二さん(65)

好評の「札幌おたすけサービス」

1968年創業の道内ダイレクトメール(DM)発送の草分け企業で、学生アルバイトだった佐々木さんはDMの仕事に興味を持ち、77年に大卒を中退して入社。2012年、2代目社長に就任した。

広告業界で、人手のかかる業務の代行サービスを売り物に、百貨店などのダイレクトメールの宛名書きや封入作業、官庁の通知発送作業などからスタートした。その後、住所録



のデータ入力やチラシ印刷、ポ

スティングや市場調査、販売デ

モンストレーションやイベント

へのスタッフ派遣など、さまざま

な分野を手掛けている。全国

展開した大規模なキャンペーン

事業で、2カ月間に300

万通の応募があった懸賞アン

ケートの受付と集約の事務局

も担った。

第三者認証の「プライバシー

マーク」(日本情報経済社会推

進協会)を取得して、公共機関

からの数十万通単位の発送も

請け負う。だからこそ、個人情報

報の取り扱いが厳重に管理し

ている。「大事なお得意さま情

報をお預かりしますから信用

が第一で、一番、気を配るところ

です」と語る。

広告業界は戦後の高度成長

期から今日まで、経済の高波に

もまれてきた。特に90年代の



専用スペースで封筒の仕分け作業を行なう

バブル崩壊後は、道内の広告代理店が次々と姿を消し、同社も影響を受けたが社員一丸となつて何とか乗り切った。

いま、デジタル化が進み、企業の事務部門の人員が減少している。今後はAIやIOTを駆使する時代になって、専門知識が必要なウェブによる情報発信や情報解析が欠かせなくなっている。従来なら社内で行っていた業務を外注する会社が増えているのだ。

そんな時代にピッタリなのが、同社が展開する「札幌おたすけサービス」だ。

一つ目は「ネットDMサービス」で、ダイレクトメールを発送する際、チラシのデザインデータと宛名データがあれば、印刷から郵便局への持ち込みまで最短の納期で請け負う。100通以上から1通単位で受注する。

一つ目が「WEBサービス」で、例えば、入学案内やオープンキャンパスの資料提供から、セミナーの参加者募集、各種キャンペーンなどをウェブ上に開設して運用から資料発送まで一括管理する。その際、私書箱の開封や応募画面の制作、応募データの処理・分析、抽選会実施、商品の発送など必要な事務の一切を代行する。

これらのサービスで一番求められることは情報の秘匿であり、請負業者の信用にほかならない。佐々木社長には、「実績こそが一番の信用」という自負がある。

スマートフォンの普及で、通販の利用が一般化し、チラシやカタログなどの、一回あたりの発送数は減っているが、その

分、顧客情報のデータ解析によってターゲットを絞り込んだダイレクトメールの需要が増えているという。

個人情報への守秘が必要な現在、封入作業も社内の専用エリアで行なう。宛先のデータベースから情報を抽出して、一通ごとに内容の異なるメッセージを印刷して郵送でき、発送物の不着情報を元にデータを更新するメンテナンスサポートもある。

「人手はかかるが、あえてマッパワーを前面に出して、他社にないサービスを提供し続ける企業を目指しています」と語る。

* *

▼所在地 〒065-0000
8 札幌市東区北8条東11丁目1番39号

▼電話 011-704-2111(代)

▼メール

i: info@sapporomail.jp

▼ホームページ https://www.sapporomail.jp/

sapporomail.jp/

(2ページから続く)

「選挙の出口調査で、立憲の支持層は60代、70代に偏って若者の支持が少ない、一致して若者対策に取り組まなければ未来がない」

「岸田首相は自民党総裁選

全中連「中小企業問題研究集会」開催

デジタル化時代の経営はどうなる

全国中小企業団体連合会(全中連)は11月11、12日、ホテルラウングウッド(東京都荒川区)で第35回中小企業問題研究集会(中研集会)を開催しました。コロナ禍のため昨年に引き続き、会場と



森信茂樹氏の講演「税制をめぐる日本と世界の動き」

で『下請けいじめゼロ』と訴えたが、元受け下請けの二重構造に問題意識を持った中小企業対策が必要だ」などの意見が出されました。同党との意見交換は今後も随時実施していきます。

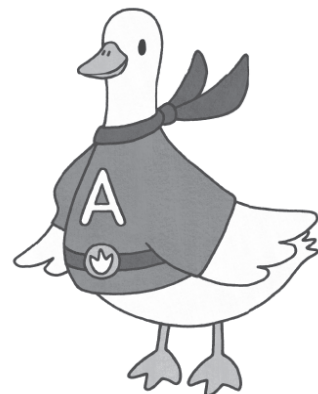
ライブ中継での開催になりました。東京会場には、首都圏や全国各ブロックからの代表者ら22人が出席しました。講演テーマと講師は以下の通りでした。初日、「コロナ禍の日本経済の行方と中小企業」(法政大学水野和夫教授)、「税制に関する世界の潮流と我が国への影響」(東京財団政策研究所森信茂樹研究主幹)。2日目は「デジタル時代の労働法のフロンティア」(労働政策研究・研修機構濱口桂一郎研究所長)、「デジタル庁が目指すもの」(向井治紀デジタル庁参与・前内閣府番号制度担当室長)。

秀逸川柳紹介

愛国は他国を憎むことじやない
あれ今日はちよつと不機嫌だね遺影
コースター止まった方が恐いかも
ガイコツが自分の中にいるんだな
風邪薬5年もある冷蔵庫
腕時計手首に描いた昭和の子
試着室「うそー似合う」と店員さん
「あつそうだ」と言うように猫引き返す
タコ焼きもシーフードかと孫が聞く
新人が見て見ぬふりを見て学ぶ
ファイザーの当期利益が気になるなあ
悪臭と百も承知で嗅ぐ心理
子犬来てスマホゲームは皆休み

(毎日新聞「仲畑流万能川柳」より)

がん治療を幅広く まとめて保障するがん保険



No.1 がん保険
医療保険
保有契約件数
令和元年版 インシュアランス生命保険統計号
約4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入
(詳細はホームページをご確認ください)

「生きるためのがん保険Days1 ALL-in」は、がんに関する治療費に加え、治療関連費も幅広くまとめて保障する保険です(所定の支払事由に該当する必要があります)。

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

株式会社 **トーア**

(引受保険会社)

「生きる」を創る。

アフラック
札幌総合支社

☎0120-25-2225 FAX 011-717-2235

Aflac

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6-1-2
アーバンネット札幌ビル5階
Tel.011-221-6008 Fax.011-233-4445

〒001-0034 札幌市北区北34条西4丁目1-11 トーア札幌ビル

AFツール-2020-0086-2003003 2月6日